チーム名	To Go チルドレン		
学校名	九州大学	学年	修士１年

◆アイデアの内容

⑴ 製品アイデアの名称と製品概要

名　称	AED EXPRESS

【製品の機能】

●AED を内蔵した自動運搬ロボットが、アプリでの呼び出しによって心肺機能停止傷病者のもとに駆けつける

【製品の特長】

●事前にアプリをダウンロードしておくことで、AED の設置場所がわからなくてもスマホ１つで現場に AED を届けることができる

●アプリについては GPS 機能を活用した位置情報特定により、AED 運搬場所を指定する手間なくスピーディーに呼び出すことが可能

【想定する活用場面例】

●海や川での水難事故

●ゴルフ場でのゴルフプレー中の心臓発作

●駅やショッピングモール、大学など、不特定多数の人が利用する公共施設で発生した心臓発作

＜製品の写真・イラスト等＞

AED EXPRESSの車体デザイン

AED EXPRESS呼び出しアプリの画面イメージ

（２）解決したい課題や製品アイデアを考えたきっかけ

消防庁の発表した「令和３年版救急・救助の現況」によると、倒れる瞬間を目撃された心停止の中でも、約半数は心肺蘇生を受けておらず、更に、AED による処置が行われたのはたった4.2%であることが明らかになっている。私たちは、せっかく AED が設置されていても十分に活用されていない現状を解決したいと考え、解決策の検討をスタートした。

私たちは、この現状の背景には２つの問題があると考えている。１つは、「設置場所がわからない」など＜AED の入手・運搬＞における問題。もう１つは、「使用方法がわからない」「責任の重さによる躊躇心」などの＜使用＞における問題である。まず現場に AED が届かなければ使用することもできないことから、私たちは２つの問題のうち＜AED の入手・運搬＞の問題を解決すべく、AED EXPRESS の提案に至った。